

盛岡四高文芸部の日常

ページ制作：盛岡第四高校 HP 制作委員

並木道を通って学校へ行くと校舎に貼られている段幕。

「文芸部 全国高校生文芸コンクール 最優秀賞 文部科学大臣賞」

これを見ても「はて、なんのことやら(^;)」「すごいんだろーけど、文芸部って何してるの？」と思う方が多いはず……。

そこで！ 今回はなにげに謎のベールに包まれている文芸部の日常を紹介していきたいと思います。

Q、「部室があると聞いたんですが、どこにあるんですか？」

部員も最初迷いました（笑）

体験入学のときなんか、人に聞かないと絶対辿り着けないかと。

一番わかりやすいのは、ゴミ捨て場の近くの階段をひたすら上ること。

多目的ホールの隣にあるエセ献血ルームです（献血は勿論していません！）。

けんけつちゃんがお出迎え。

あ、扉が二つありますが、右側はダミーだから気をつけて！

Q、「活動場所・活動日はいつ？」

活動場所は部室 or 情報処理室。

平日は毎日下校時間ぎりぎりまで活動しています（`・ω・`）

土日は場合により。

Q、「普段何しているの？」

メインはそりゃあ創作活動です。文で芸をすると書いて文芸部ですから！

情報処理室でパソコンを**真剣な眼差し**で見つめ、カタカタとキーボードを叩いています。

各部員が創作しているのは、小説・随筆・詩・短歌・俳句までジャンルは様々です。

年に一回、「志高文芸」という部誌を発行している他、冬は卒業生に送る冊子作りに励む日々。お互いに作品を読みあい批評しあう合評会もして、より良い作品を目指しています。

あと、月一回のペースで先生をお招きして俳句・短歌例会を開いています。

Q, 「部室の様子を教えてください。」

上下関係なんか全く無く（ぬいぐるみ達も仲良し）、非常に賑やかです。

おしゃべりは勿論のこと、音楽や合唱や歌が聞こえてくるほどに。

たまに踊ったり格闘したり（文芸部員はわりと運動部出身が多く体育会系なのです）

基本的に部員は教室での自分と部室での自分とのギャップが激しいようです。

「部室は心の扉」 by 部長

Q, 「部誌が見たいです。」

文化祭の時が一番かもしれません。過去の部誌も展示しています。

まさに部員の「**血と汗と涙の結晶**」です。

おかげで 44 号は全国高校生文芸コンクールで最優秀賞を獲ることができました！

（昨年の 45 号は優秀賞で全国二位）

ちなみに、四高生は 500 円で買えるよ！（一般は 700 円）

Q, 「その他、文芸部について語ってください。」

個性の固まり（笑）本当に、部室覗くときはご注意を。

だから書く文章もみんな違って、それがお互いとても勉強になっています。

これで文芸部のことを少しはわかってもらえたら嬉しいです。

でも一番理解が深まるのは、まず部誌を見ることでしょう！

ぜひ来年の文化祭は文芸部へ！←